



【北海道自家用自動車協会連合会】

ココロに響く啓発をいつも考える。

北海道自家用自動車協会連合会とは

戦後の自家用自動車の普及や交通安全意識の醸成を図ることを目的に設立され、札幌地区自家用自動車協会をはじめ、道内7地区の自家用協会を会員として構成されています。地区協会では、希望ナンバー・ご当地図柄入りナンバー等の交付サポート、共済事業、交通安全運動などを行っています。連合会では、交通事故ゼロを目指し、関係機関と連携のもと交通安全の様々な取組を展開しています。

◆喜ばれる啓発物品をいつも模索。インスタントラーメンも登場！



インスタントラーメンの贈呈式
北海道自家用自動車協会連合会の松浦会長（右から2番目）と辻澤専務理事（右端）。
北海道交通安全推進委員会の勝木会長（左から2番目）と甲谷筆頭副会長（左端）。

「啓発品は、おっ？と思って使ってもらうことが大切。いつも同じものでは心が動かない」。こう語るのは専務理事の辻澤英隆さん。毎年、啓発物品を作成し、各地区の構成団体や道内の交通安全に取り組む団体に寄贈しています。

これまでティッシュや夜光反射材などの定番の啓発品も制作・配布してきましたが、受け取った方々の話題になるものをと、常にその効果をスタッフのみなさんと話し合っています。

コロナ禍が始まった年には、交通安全のシールを貼った「除菌用消毒ジェル」。他の年には、毎日使いなが

ら心に留めてほしいと願いを込めた「歯磨きセット」。令和5年度は、交通安全のチラシとともに「インスタントラーメン」。北海道交通安全推進委員会にも1400個を寄贈いただき、全道各地での啓発活動に活用しました。



◆情報満載！「北海道自家用新聞」

同連合会では、毎月、自動車業界の動向や国の取組などを掲載した「北海道自家用新聞」を発行しています。その中には、交通安全の機運を高める記事も満載。北海道警察や北海道などとともに、毎年実施している期別の交通安全運動のお知らせのほか、「飲酒運転根絶！高校生メッセージコンクール」（主催：北海道交通安全推進委員会）の入賞作品などを順次掲載し、読者の皆さんの意識を高めていただいています。新聞は会員に配布されるほか、公式サイトではバックナンバーも読むことができます。→





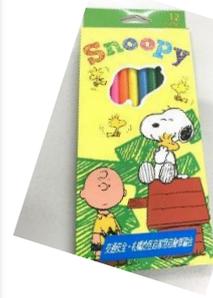
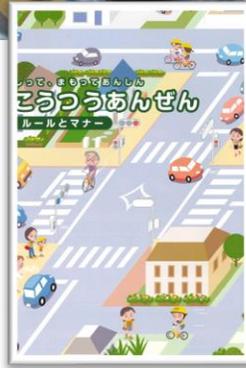
◆新入学の小学生全員に交通安全ノート、園児には色鉛筆をプレゼント！

毎年、札幌市内の小学校に入学したばかりの1年生全員に「交通安全ノート」を配布しています。教室では、先生から児童一人ひとりに手渡され、交通安全について学びます。

表紙にはマチのかわいいイラストが描かれ、各ページには、道路で気を付けなければならないことが書かれていて、ノートを見ながら子どもたちもじっくり。後日、先生や子どもたちの喜ぶ様子や感想などが、各学校から同連合会事務局に届けられます。

また、市内の幼稚園児には、「交通安全」シールを貼った色鉛筆も寄贈しています。

これらのプレゼントを通じて、家庭や幼稚園・学校などで、しっかり交通ルールを守ることの大切さを話し合うことができます。



◆常に、気持ちは「交通安全」

道内にある7つの地区家用自動車協会の会員やお客様は、ほとんど自動車関係者やドライバー。北海道家用自動車協会連合会では、地区協会と連携しながら、自家用車に愛着をもつドライバーの皆さんに、いつも「交通安全」を広く呼び掛けています。札幌市内の事務所には、オリジナルの交通安全旗や、飲酒運転根絶を呼びかける自動販売機が設置されています。



会員などに配布した交通安全旗。各所に掲示されています。



事務所の敷地に設置されている飲酒運転根絶自動販売機。



希望ナンバー登録などの業務も行っていきます。